苫小牧工業高等専門学校	創造工学科（電気電子系フロンティアコース）	開講年度	令和02年度 (2020年度)

学科到達目標

【学校目標】

A（教養）：地球的視点で自然・環境を考え，歴史，文化，社会などについて広い視野を身につける.
B（倫理と責任）：技術者としての倫理観や責任感を身につける.
C（コミュニケーション）：日本語で記述，発表，討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける.
D（工学基礎）：数学，自然科学，情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける.
E（継続的学習）：技術者としての自覚を持ち，自主的，継続的に学習できる能力を身につける.
F（専門の実践技術）：ものづくりに関係する工学分野のうち，得意とする専門領域を持ち，その技術を実践できる能力を身につける.
G（複合領域の実践技術）：他の専門領域も理解し，自身の専門領域と複合して考察し，境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける.
H（社会と時代が求める技術）：社会や時代が要求する技術を工夫，開発，システム化できる創造力，デザイン能力，総合力を持った技術を身につける.
I（チームワーク）：自身の専門領域の技術者とは勿論のこと，他領域の技術者ともチームを組み，計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける.

【実務経験のある教員による授業科目一覧】

学科	開講年次	共通・学科	専門・一般	科目名	単位数	実務経験のある教員名
創造工学科（電気電子系）	本4年	学科	専門	電気機器Ⅱ	2	上田茂太
創造工学科（電気電子系）	本4年	学科	専門	通信工学Ⅰ	2	奈須野裕
創造工学科（電気電子系）	本4年	共通	専門	医療・福祉	2	土居茂雄

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分
						1年				2年				3年				4年				5年			
						前				後				前				後				前			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
専門	必修	ビジネスⅠ	0001	学修単位	2													2								金子 友海	
専門	必修	ビジネスⅡ	0002	学修単位	2																	2					
専門	必修	ビジネスⅢ	0003	学修単位	2																	2					
専門	必修	国際コミュニケーション	0004	学修単位	2																			2			
専門	必修	フロンティア研究	0005	履修単位	4																	4		4			

苫小牧工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	ビジネスⅠ

科目基礎情報

科目番号	0001	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	創造工学科（電気電子系フロンティアコース）	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	図解でわかる　経営の基本　いちばん最初に読む本，六角明雄著，アニモ出版		
担当教員	金子 友海		

到達目標

1．企業経営の管理業務に関する全般的な基礎知識について説明することができる。
2．経営資源であるヒト，モノ，カネ，情報，技術の管理法について説明することができる。
3．生産における管理法について説明することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
企業経営の管理業務に関する全般的な基礎知識	企業経営の管理業務に関する全般的な基礎事項について，歴史的観点についても説明でき，経営モデルに適応できる。	企業経営の管理業務に関する全般的な基礎事項について理解し，説明できる。	左記項目に関することができない。
経営資源であるヒト，モノ，カネ，情報，技術の管理法	経営資源であるヒト、モノ、カネ、情報、技術の管理法について理解し，経営モデルに適応できる。	経営資源であるヒト、モノ、カネ、情報、技術の管理法について理解し，説明できる。	左記項目に関することができない。
生産における管理法	生産における管理法の全般的な基礎事項について理解し，説明でき，経営モデルに適応できる。	生産における管理法の全般的な基礎事項について理解し，説明できる。	左記項目に関することができない。

学科の到達目標項目との関係

Ⅰ　人間性　1 Ⅰ　人間性
Ⅱ　実践性　2 Ⅱ　実践性
Ⅲ　国際性　3 Ⅲ　国際性
CP2　各系の工学的専門基盤知識，および実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる力　5 CP2　各系の工学的専門基盤知識，および実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる力
CP3　課題の本質を理解し，正しい倫理観の下で，自分の意見を論理的に表現できる力　6 CP3　課題の本質を理解し，正しい倫理観の下で，自分の意見を論理的に表現できる力
CP4　他者を理解・尊重し，協働できるコミュニケーション能力と人間力　7 CP4　他者を理解・尊重し，協働できるコミュニケーション能力と人間力
CP5　国際的素養を有し，継続的に自ら学ぶ力　8 CP5　国際的素養を有し，継続的に自ら学ぶ力

教育方法等

概要	企業経営の管理業務に関する全般的な基礎知識を習得する。特に，経営資源であるヒト，モノ，カネ，情報，技術の管理法について理解する。また，生産管理に関する基本的事項についても理解する。
授業の進め方・方法	経営をはじめて学ぶ学生のために，初歩的な教科書を指定した。この教科書と教員自作のアナログビジネスゲーム、レジュメを用いて講義する。 この科目は学修単位科目のため，事前・事後学習として課題・演習などを実施し，評価の対象とする。
注意点	演習課題には積極的に自発的に取り組むこと。 学業成績の成績が60 点未満の者に対して再試験を実施する場合がある。この場合，再試験の成績をもって再評価を行う。

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	0．フロンティアコースで学ぶビジネス　Ⅰ～Ⅲの関係と本授業の位置づけ 模擬経営体験（ルールの理解）	企業等経営に関する授業のビジネスⅠ～Ⅲのなかで，本授業の位置づけについて理解し，説明できる。 模擬経営体験により経営センスを身につける。
		2週	模擬経営体験（ルールの理解）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		3週	模擬経営体験（個人）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		4週	模擬経営体験（個人）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		5週	模擬経営体験（個人）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		6週	模擬経営体験（発表）	経営分析を行い，他社との比較により自社の強みや弱みを理解する。
		7週	模擬経営体験（発表）	経営分析を行い，他社との比較により自社の強みや弱みを理解する。
		8週	1．会社のしくみと経営の基礎知識	器としての会社について説明できる。
	2ndQ	9週	2．会社の「組織」のしくみと実践的な考え方	組織論について説明できる。
		10週	3．組織管理のしかたと従業員教育の方法	具体的な組織の構成について説明できる。
		11週	模擬経営体験（チーム）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		12週	模擬経営体験（チーム）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		13週	模擬経営体験（チーム）	模擬経営体験により経営センスを身につける。
		14週	模擬経営体験（発表）	経営分析を行い，他社との比較により自社の強みや弱みを理解する。
		15週	模擬経営体験（発表）	経営分析を行い，他社との比較により自社の強みや弱みを理解する。
		16週	定期試験	

評価割合

	定期試験	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	10	10	20
専門的能力	40	40	80